

## 台湾の世界保健機関年次総会(WHA)への参加を支持する署名活動

一、国際連合の世界保健機関(WHO)の憲章には、到達しうる最高基準の健康を享有することは、万人の有する基本的権利の一つであると記載されている。WHOは全人類のふくしを追求するために設立された組織であるゆえ、台湾住民2,300万人は世界の医療ネットワークから不当に排除されることがあってはならない。

二、台湾は国際社会において、疫病の流行防止や重要な人道的支援の提供にも、多大な貢献をしている。その経験を全世界で共有し、他国における社会的弱者への支援制度の推進や潜在的衛生問題の解決推進に協力することにより、WHOが掲げている「健康は基本的人権」というビジョンを共同で実現することができる。

三、いかなる理由があろうとも、台湾住民2,300万人が住んでいる場所が世界の防疫ネットワークの穴になることがあってはならない。台湾が今年の世界保健機関年次総会(WHA)に参加できるよう、世界の防疫ネットワークに穴が生じないようにと呼び掛けるものである。

\* 上記への賛同の署名を集め、日本の厚生労働部に当たる臺灣衛生福利部に提出し、日本人の支援の意をアピールすることを目的としています。

発起人：北九州台湾聯誼会：庄野寛栄、原田和昭、黄本恒裕、庄野庸雄  
FAX：093-647-1033

氏 名	住 所

備考：世界保健機関(WHO)は1948年4月7日発効の世界保健憲章に基づいて発足した国際連合の専門機関の一つ。

【すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること】を目的に掲げている  
本部はジュネーブにあり、主要事業活動は

- (1) 医学情報の総合調整、(2) 国際保健事業の指導的かつ調整的機関としての活動、
- (3) 保健事業の強化についての世界各国への技術的協力、
- (4) 感染症及び他の疾病撲滅事業の奨励・促進、(5) 保健分野の研究の促進・指導、
- (6) 生物学的製剤及び類似製品、食品に関する国際的基準の発展・向上、である。